|  |
| --- |
| 【科目名】**園芸療法における植物の利用** |
| 【期　別】前期（4～8月） | 【区　分】必修 | 【種　別】講義 |
| 【単位・コマ数】2単位・15コマ | 【時間数】22.5 | 　 |
| 【主任教員】○横田 優子（5）　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ○は成績評価者 |
| 【分担教員】○毛利 ユカ（5）　○星川 雅子（5）　　　　　　　　 　 　 　○は成績評価者 |
| 【授業のねらい】園芸療法を行う上で必要な、植物の利用に関する知識・技術を身につける |
| 【担当教員】　　　　　 | 【授業予定】 |
| 毛利 ユカ6/23（土）1-5限 | 創造活動における基本注意事項。施設における園芸療法のクラフト活動を学ぶ。* 活動の演出方法、様々な工夫　など
* クラフトの準備～年間計画
* クラフトの実習
* 活動の演出方法、様々な工夫　など
 |
| 星川 雅子7/4（水）1-5限 | 植物（ハーブ）の利用に関する知識と技術（活用方法）を身につけるために学ぶ≪1限～2限≫園芸療法ガーデンにて下記（1）～（3）の実習（1）ハーブの育て方、管理の仕方（手入れと殖やし方）（2）ハーブの収穫と処理（部位別採取の仕方）（3）ハーブの魅力（花色・香り・葉の色・形状）等を体感≪3限 ≫植物の恵みを生かす技・方法について（1）知ることで使いこなせるハーブの魅力紹介　　　a.花と葉を楽しむハーブ　　　b.花の美しいハーブ　　　c.有益な樹木ハーブ　　　　　d.飲料用ハーブ≪4～5限≫ハーブを活用するテクニックについて（実習）（1）香りの創作（ポプリ/モイストポプリ/スイーツポプリ）（2）創作ポプリのオーナメント作りのテクニックについて |
| 横田 優子 7/11（水）1-5限 | 園芸療法のセッションの中で、クライアントに植物の美しさに触れ、魅力を感じながら、作品づくりの楽しさを味わっていただけるよう、必要な知識・技術を学ぶ。 園芸療法セッションにおける植物選びのポイントを学ぶ。≪1・2限≫* 色彩の基本的知識・心理的効果
* 植物と色彩
* 寄せ植え（スライド中心に実例を紹介）

≪3限≫* フラワーアレンジメント（実習中心：牛乳パックを使ったフラワーアレンジメント）

≪4・5限≫* 押し花（スライドと実習：押し花を使った作品づくり）
* リース（スライド中心に実例を紹介）

※授業では現場での作品づくりの様子、クライアントの表情なども紹介します。※アメリカにおけるプログラムの具体例もいくつかご紹介する予定です。 |
| 【購入図書】 |
| 毛利 ユカ： | * 「高齢者のリハビリ　園芸クラフト」

（監修IHT登坂ユカ、（株）QOLサービス、2009年8月、2,000円）　 |

|  |
| --- |
| 【参考図書】 |
| 横田 優子： | * 「花色レッスン＆コーディネートBOOK」

（中山正範・室谷優二著、主婦の友社、2006年、1,365円）* 「花育親子で楽しむ花アレンジメント」（谷川圭子著、ブティック社、2008年、1,200円）
* 「NHKおしゃれ工房　暮らしの押し花」

（柳川昌子著、日本放送出版協会、2005年、1,500円＋税） |
| 星川 雅子： | * 「ハーブと精油の基本事典 」（林真一郎、池田書店、1,900円）
* 「ハーブの育て方145種」（桐原春子、成美堂出版、1,300円）
* 「ハーブの花図譜（カラーチャート）」

（星野登志子（絵）／桐原春子（解説）、成文堂新光社、2,500円） |
| 【予習課題】 |
| 毛利 ユカ： | 1. ご自分が園芸療法士として活動することを念頭に既存のクラフトを1点探してください。既存のクラフトは購入図書だけでなく一般書などからでも結構です。
2. 下記をレポートにし、メール（データ）で提出してください。（提出期限：5/31までにＴＡへ）

●上記クラフトを行う対象者の設定（健康状態、疾患・障害、気持ちなどを考えて記載）●クラフトの大まかな内容（絵・写真があると分かり易い。出典・HP URLを明記）●上記クラフトを想定した対象者に行う場合の良い点や課題、工夫として考えられることなどなお、試作品がある方（あれば）は授業に持参して下さい。 |
| 横田 優子： | 1. PCCS色相環\*の色相の配列を覚えておく。
2. 色の3属性（色相・明度・彩度）についてまとめておく。

（※①②は提出の必要はありませんが、授業の中で確認しますので、しっかり予習しておいて下さい。　PCCS: 日本色研配色体系（Practical Color Co-ordinate System）1. 所定（配布）の様式に従い、植物の特性を分類しておく。（提出期限：6/11[月]必着。TAへ）
2. 学校内／身近な植物で押し花を作っておく。（3～5種類程度：花には限りません。色・大きさなど，異なるもので作ってみて下さい。授業当日持参のこと。実習で使用します。）
3. 寄せ植えを作ったことがある方で，作品の写真があれば，予習課題提出時，一緒にデータを

お送り下さい。　※⑤のみ任意。なければ結構です。 |
| 星川 雅子： | レポート（A4サイズ１枚）　　　　　　　　 　　　　有用植物（ハーブ）について（他の植物と比べた時、どのような作用、効能の違いがあるのか、五感に与える作用について、自分の考えをまとめてください）（提出期限：6/26までにTAへ） |
| 【成績評価の方法】 |
| 横田 優子： | 出席、授業態度、予習課題、実習作品、講義後のレポート、演習により総合的に評価します。（※課題は講義後にお知らせします） |
| 毛利 ユカ： | 出席、授業への参加意欲態度、レポート内容、ディッスカッション時の発想力、企画力など総合的に評価します。 |
| 星川 雅子： | 出席・授業への参加意欲・態度・レポートの内容・発表時の発想力などを総合的に評価します。 |
| 【受講生への希望】 |
| 横田 優子： | 単なる知識・技術の習得にとどまらず、皆さん自身が楽しむことが大切です。いろいろな雑誌や植物図鑑、カタログ等をめくって、植物、色、クラフトアイデアなどについて、イメージを膨らませておいて下さい。現場でのセッションのようすもスライドで紹介しますので、作品づくりのノウハウだけでなく、クライアントの反応、場の雰囲気などからも学んでいただきたいと思います。内容的に盛りだくさんになっています。積極的な授業参加で理解を深め，実際に作品を作ってみて得られる気づきもたくさん持ち帰っていただきたいと思います。 |
| 星川 雅子： | 園芸療法活動時に、学習したことが創意工夫することで役立った事（知識・技術・相家との関係）などを紹介してみて下さい。その他、植物図鑑・ハーブ図鑑などを参考に、色々なイメージを膨らませて発想力や企画力を身につけられるよう、努力して下さい。  |
| 毛利ユカ： | ご存知のように「わかる」と「できる」には大きな隔たりがあります。特に園芸療法におけるクラフトは対象者にあわせた工夫が必要になりますから試作が重要になります。任意ではありますが、出来るだけ予習課題は試作してください。自信がつきます。 |